

世界のどこにもないもの

●日時: 2020年1月18日[土]  
13:00~17:30(受付:12:30)

●会場: 宮代町コミュニティセンター  
「進修館」小ホール

●定員: 200名

●会費: 一般 1500円/  
学生 1000円(中学生以下無料)/  
懇親会 1500円

[進修館建築・家具図面/写真/家具展示]  
10:30~14:00  
大ホール・小ホール・2階大ロビー他

第1部 13:00~13:45

進修館ワンダークエスト

象設計集団による進修館ワザワザ見て歩きツアー  
(市民ガイドクラブ、進修館ファンクラブ同行)

第2部 14:00~15:30

座談会 PART 1 [進修館ものがたり]

齋藤甲馬町長の構想、宮代町全体のフィールドワークから  
進修館を造りあげていく過程を追い、  
その発注から設計、施工、制作の体験談やエピソードを語り合う

出演: 樋口裕康 / 富田玲子 / 西尾貞臣 /  
平井秀一 / 田沼繁雄 進行: 柏井正澄

第3部 15:45~17:30

座談会 PART 2 [家具から建築、都市へ]

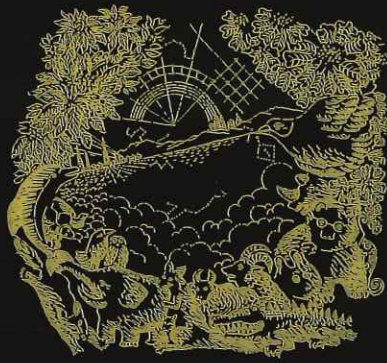
進修館は、いろいろな人が参加して造りあげた建築である  
ぶどう棚、議場の円卓・椅子、大ホールの緞帳、大ロビーの家具、  
さらに食器類にいたるまで、進修館の空間を支えるものを取り上げ、  
その設計や制作に関わった方々の思いや情熱、発想力を聞く

出演: 樋口裕康 / 富田玲子 / 西尾貞臣 /  
池田正一 / 遠藤精一 / 関屋和雄 進行: 柏井正澄

第2部、第3部の座談会中、  
「進修館ものがたり」を写真映像で紹介  
制作: 北田英治

甲馬サロン懇親会 18:00~19:30

地粉による手打ち蕎麦、地元野菜の天ぷら、宮代の巨峰ワインなど  
宮代のもてなしを楽しみながら、懇親を深める  
協力: 宮代の蕎麦うち名人、天ぷら名人



「町民がたくさん集まれる、世界のどこにもないものを建てよう」、  
宮代町の齋藤甲馬初代町長の壮大な構想、まちづくりに対する思いに触れ、  
進修館の設計を担当した象設計集団は大いに勇気づけられた。

そして、宮代を関東平野、日本、世界という広い視野から捉え、  
アプローチの中で、さまざまなものやかたちを追求していった。

進修館の広場、建築や家具には多くの仲間が加わり、討論や試行を積み重ねた。

この作業に、関わった方々に生の声として語っていただき、  
当時のエネルギーが溢る現場、ダイナミックな創造の過程を追う。

ONE TEAMでつくる、つなぐ



東武スカイツリーライン、  
東武動物公園駅西口から徒歩5分

主催:  
甲馬サロン実行委員会  
申し込み・お問い合わせ:  
実行委員会事務局 手島 互  
メール: bzd05603@nifty.com  
TEL: 080-1239-4750

### 出演者プロフィール

#### 樋口裕康 (ひぐち・ひろやす)

1939年静岡県生まれ。65年早稲田大学大学院修了。64~71年U研究室。71年富田玲子、大竹康市、重村力、有村桂子と象設計集団設立。宮代町の基本構想、進修館設計の中心メンバーとして関わる。90年象設計集団十勝事務所設置。現在、帯広在住。

#### 富田玲子 (とみた・れいこ)

1938年東京都生まれ。61年東京大学工学部建築学科卒業。63年同大学院修了。象設計集団創設メンバーの一人。齋藤甲馬の姪にあたる。幼い頃から宮代へは幾度も訪れた。進修館、笠原小学校、進修館四季の丘などを手がける。

#### 西尾貞臣 (にしお・さだおみ)

1950年愛知県小牧市生まれ。75年早稲田大学建築学科卒業。76~82年象設計集団。進修館の現場管理を担当する。83年小牧市を拠点とし、アトリエ修羅を設立。TeamZOOとして活動。小牧市議会議員を3期12年務める。

#### 平井秀一 (ひらい・しゅういち)

1950年神奈川県生まれ。75年早稲田大学大学院修了。卒業後、象設計集団入社。沖縄での調査・設計に関わる。宮代では79年からの基本構想づくりに関わる。山崎山周辺地区整備計画、2007年には顔づくりプロジェクトにて進修館四季の丘を設計。

#### 枡井正澄 (まつい・まさすみ)

1954年滋賀県生まれ。76年名城大学工学部建築学科卒業。78~82年象設計集団。労働福祉事業団山口グリーンパレスを担当。90年アトリエエド設立。TeamZOOとして活動後、源兵衛川・くらしの水辺、横浜の和泉川、いたち川など河川のプロジェクを手がける。

#### 池田正一 (いけだ・しょういち)

1954年静岡県生まれ。神奈川県建築学科卒業後、77年象設計集団入社。78~79年進修館家具設計及び現場管理担当。81年広島市安佐町農協センター設計、現場監理担当。88年龍設計設立。以後、河川整備・公園建築施設の設計などに従事。

#### 遠藤精一 (えんどう・せいいち)

1940年東京都生まれ。66年早稲田大学大学院修了後、横総合計画事務所入社。74年エンドウプランニング設立。方圓館とともに進修館の家具に関わる。象設計集団の用賀プロムナード、世田谷区役所周辺のサインなどを手がける。

#### 関屋和雄 (せきや・かずお)

1972年県立宮崎工業高校工芸科卒業。東京深川にて、木工家具制作修業。78年専門学校ICSカレッジアーツ卒業、方圓館に入社。進修館の家具制作に関わる。その後、象設計集団、アトリエモビル、アトリエ140などと建築設計活動への参加。86年宮崎市にて木工房開設。

#### 田沼繁雄 (たぬま・しげお)

1954年幸手市生まれ。現在も幸手市在住。72年に宮代町役場入庁、都市計画担当。79~82年進修館工事の担当として、象設計集団と工事に関わる。退職後も宮代町のいろいろな事業、イベントに参加。

#### 北田英治 (きただ・えいじ)

1950年鳥取県生まれ。東京写真大学技術科卒業後、カメラマンとして建築雑誌取材等で象設計集団と深く関わる。書籍は、「サレジオ」「DISCONT不連続統一」「空間に恋して」「ル・コルビュジェのインド」「齋藤甲馬と宮代」「ラ・コリーナ近江八幡」他多数。



宮代町魚眼マップ



宮代の屋敷林景観



風景の織物



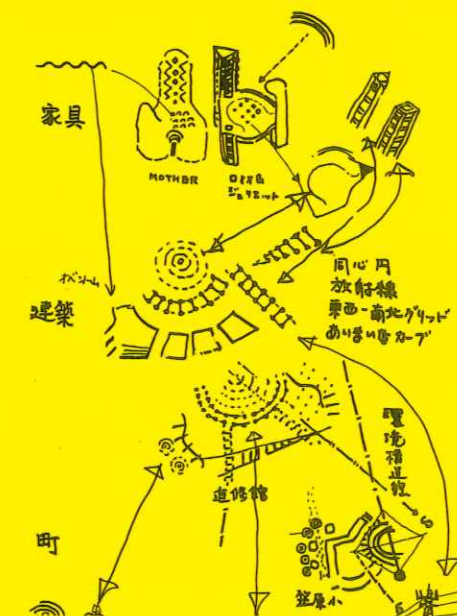
進修館前広場



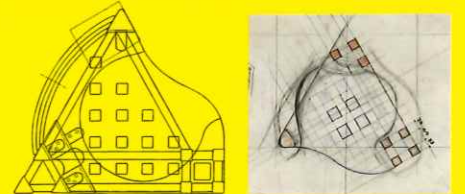
竣工間もない頃の進修館、東武動物公園の馬車が通る



宮代町の円卓議会



宮代かたちづくり



会議用椅子 (ロミオとジュリエット)



ぶどう型押手見本 (制作：関屋和雄)

光を受けとめ影をつくり  
手のひらにもぐりこみ  
人の動きによりそう